

文法指導の「思い込み」を見直してみよう： Instructed SLA研究から英語授業を考える

文法指導は英語授業の要です。ただ、文法を丁寧に教えても、多くの生徒が英語を使えるようにならないのはなぜでしょうか。本講演では、そのような教師の悩みや疑問にInstructed Second Language Acquisition (ISLA) 研究の観点から考えます。特に、中学校や高校の英語授業の具体的な実践例を交えながら、文法指導に関する従来の信念の中に「思い込み」が存在することを指摘します。そして、ISLA研究の最新成果に基づき、効果的な教室での文法指導のあり方について、参加者の皆さまと共に議論を深めたいと思います。

日時

2024年

12月21日(土)16:30~18:00 (開場16:10)

講師

鈴木 祐一 先生



早稲田大学国際学術院・国際教養学部准教授。
東京学芸大学教育学研究科(英語教育)修士課程修了後、メリーランド大学カレッジパーク校でPh.D.(第二言語習得)取得。*Studies in Second Language Acquisition*など国際学術誌の編集委員を務め、言語・言語学分野において世界で最も影響力のある研究者トップ2%に選出。主著に『あたらしい第二言語習得論』(研究社)、『英語学習の科学』(研究社)、『高校英語授業における文法指導を考える―「文法」を「教える」とは?』(アルク)、*Practice and automatization in second language research: Perspectives from skill acquisition theory and cognitive psychology* (Routledge) がある。

会場

神戸市外国語大学
三木記念会館

https://www.kobe-cufs.ac.jp/campus_map.html

公共交通機関をご利用ください。

※対面での参加が難しい場合、オンラインでの参加も可能です。

対象

本学大学院英語教育学専攻院生・修了生
教職を目指す学部生及び大学院生
小中高英語教育関係者

定員・申込

対面参加の定員: 50名程度(先着順)
オンライン参加の定員: 100名程度(先着順)

申込フォームよりお申込みください。
締切日: 2024年12月19日(定員に達した場合、締切日前に受付を終了することがあります。)

なお、申込フォーム以外でのお申込みは受け付けておりませんので、ご了承ください。
参加費は無料です。

申込はこちら▼

